

2022年4月16日

一般社団法人 大学女性協会  
会長 加納孝代

外国にルーツのある子どもの日本語教育のあり方に対する配慮について（提言）  
～誰ひとり取り残さない日本社会をめざして～

（一社）大学女性協会は「啓発・提言活動」を私たちの行うべき公益事業の一つに位置づけています。その活動の担い手の一つに調査・研究委員会があります。この委員会では2018年度から「外国にルーツのある子どもたちの教育」について調査と研究を行ってきました。

2021年度はコロナ禍のもと、さまざまな活動が制限され、オンラインでの活動を余儀なくされましたが、その中で私たちが学んだことのうち特に重要だと思うことを以下のようにまとめて提言としました。これを今後の調査・研究委員会活動に繋げていきたいと思えます。

記

**1. 相互理解を深めるための「日本語教育」を**

外国にルーツのある子どもへの日本語教育は、日本に同化させるためのものではないです。お互いの立場を考え、歩みよることで相互理解が深まります。日本語は相互理解のための道具です。

**2. 外国にルーツのある子どもたちの「母語教育」の普及を**

母語教育は異国で自尊心を育てるためにきわめて重要です。外国にルーツのある子どもが日本で安心して成長するためには母語が必要です。またアイデンティティの確立にも母語が不可欠です。すべての子どもの共生社会への理解を進めていくためには、母語教育の普及を全国的なムーブメント（活動）にしていくことが重要です。そうしてこそ日本人の子どもたちの共生社会理解も進み、日本を真の共生社会に変える力となってゆきましょう。

**3. 誰もが同じ人間として尊重される社会の構築を**

異なる文化や言語をもつ人々を外見や言語の違いで区別することなく、違いを受入れて理解し、誰であっても同じ人間として尊重される社会をつくることが重要です。その先に真の共生社会が生まれます。

**4. 基本的なスキルを身に着けるための研修の充実を**

「誰一人取り残さない」はSDGsの基本理念です。教育格差を解消するには、外国にルーツをもつ人々がどんなに少ない地域においても、自治体が教師その他関係者に基本的なスキルを身に着けさせる研修を実施する態度が重要です。

私たちは、行政の担当者、学校教育関係者、日本語指導担当者、外国にルーツのある子どもたちを支える地域社会やボランティアなどすべての人々が、以上に述べた認識を持って取り組むことを求めます。

## 【参考】

■2021年3月発行の調査報告書全文は以下のURLよりダウンロードできます。

<http://www.jauw.org/aboutjauw/books/archives/202103chousakenkyu-report.pdf>

■2021年11月開催の全国セミナーにおける中間報告は以下のURLに掲載しています。

調査・研究委員会「教育における共生を考える～日本語教育推進法施行後の動きから～」  
(報告者 調査・研究委員会委員長 勝又幸子)

[https://www.jauw.org/activity\\_category/seminer/](https://www.jauw.org/activity_category/seminer/)

\*2021年度全国セミナー<講演者用PPT資料>

\*2021年度 セミナー報告書(PDF) p.33～38

■2021年度の勉強会の「当日資料」「概要報告」「アンケート結果」は以下のURLに掲載しています。

[https://www.jauw.org/activity\\_category/report/](https://www.jauw.org/activity_category/report/)

\*第1回勉強会 2021年8月8日(日)午後1時30分～午後3時30分

「日本語教育の現状と課題～日本語教育・学習体制をいかに整備すべきか～」

講師 西原鈴子さん(NPO法人日本語教育研究所理事長 元文化審議会会長)

\*第2回勉強会 2021年9月5日(日)午後1時30分～午後3時30分

「外国にルーツのある子どもたちの教育の現状と課題～保護者支援の必要性と実態～」

講師 菊池寛子さん(西尾市教育委員会日本語教育指導アドバイザー・日本語初期指導教室カラフル室長)

\*第3回勉強会 2021年9月19日(日)午後1時30分～午後3時30分

「日本語教育・学習体制をいかに整備すべきか～外国にルーツのある子どものことばと学びを支える～」

講師 石井恵理子さん(東京女子大学現代教養学部 心理・コミュニケーション学科教授 文化審議会国語分科会日本語教育小委員会主査)

\*第4回勉強会 2022年1月23日(日)午後2時～午後3時30分

「外国にルーツのある大学生との意見交換会～今から私たちにできることは何か?～」

ゲスト ゲントウナさん(日本福祉大学国際福祉開発学部2年)

アンヘラ・パトリシアさん(静岡文化芸術大学3年)

\*\*\*\*\*

本調査に関する問い合わせ先は以下で承ります。

(一社) 大学女性協会 調査・研究委員会 委員長 勝又幸子

Email : yukko20100420★gmail.com (★を@に置き換えて送信ください。)